Joto

要保存

施工説明書

高気密型床下点検口 高断熱型

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書を**よくお読みいただき施工してください。**
施工説明書は工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

⃠	この記号は、禁止の行為を示しています。	❗	この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。

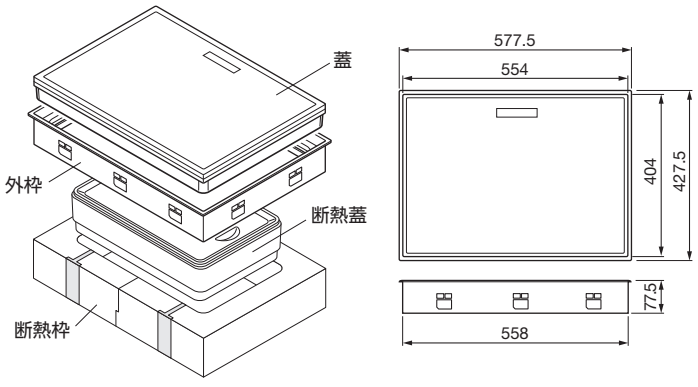
⚠注意	
⃠ 禁止	樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。
	樹脂製ですので、熱源(投光器など)のそばに置かないでください。
	保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。
❗ 指示に従う	収納庫は、収納物の重量によって変形する恐れがありますので、ブロック・レンガ・モルタル(間にビニールシートを入れる)などで収納庫の底部を受けるか、別売品の床下収納庫用補強ステーのご使用をおすすめします。また、2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステーをご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。

種 類	摘 用	品 番
高気密型床下点検口(高断熱型)	450×600タイプ	SPF-R45S-BC2・SPF-R45C-BC2・SPF-R45F12-BC2・SPF-R45F15-BC2
	600×600タイプ	SPF-R60S-BC2・SPF-R60C-BC2・SPF-R60F12-BC2・SPF-R60F15-BC2
収納庫	450×600タイプ用	SPF-45S2
	600×600タイプ用	SPF-60S2・SPF-60S3

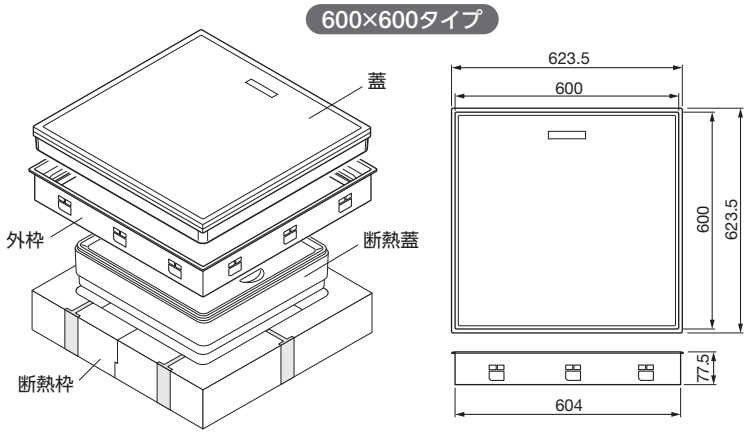
※品番:SPF-R45(60)S-BC2…シート貼り完成品／SPF-R45(60)C-BC2…クッションフロア合わせタイプ／SPF-R45(60)F12-BC2, SPF-R45(60)F15-BC2…フローリング合わせタイプ

製品図

450×600タイプ



600×600タイプ



⚠注意：断熱枠は梱包の緩衝材ではありません。絶対に捨てないでください。

城東テクノ株式会社

高断熱型

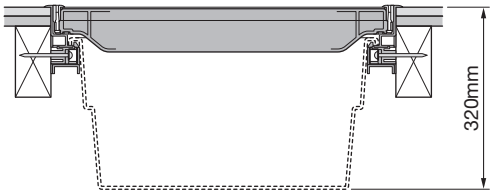
施工説明書の見方

この施工説明書は高気密型床下点検口(高断熱型)および「収納庫」を掲載しています。
下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。 ※〔 〕内の寸法は600×600タイプ
●シート貼り完成品は、**4**の蓋を組み立てる作業は必要ありません。

1 施工の前に

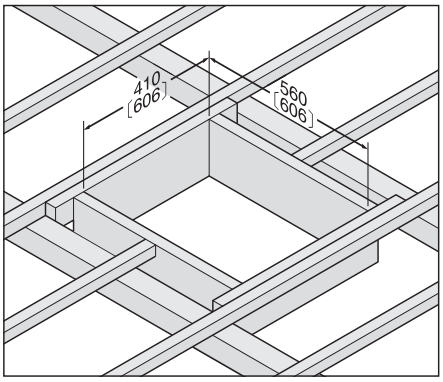
・気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。
・収納庫を使用する場合は、フロア面から土間まで以下の高さが必要です。
450×600タイプ→●収納庫浅型タイプ(SPF-45S2)使用時は320mm以上必要
600×600タイプ→●収納庫浅型タイプ(SPF-60S2)使用時は320mm以上必要
●収納庫深型タイプ(SPF-60S3)使用時は480mm以上必要
※収納庫薄型タイプ(SPF-60S1)は使用できません。

※浅型タイプ納まり図

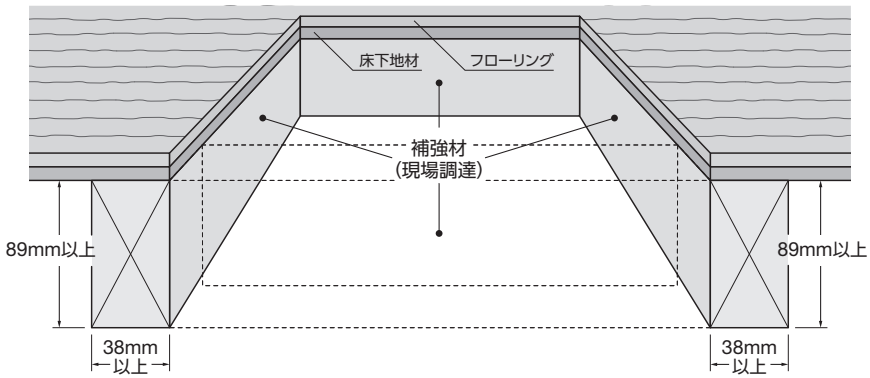


2 下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます(根太、補強材の構成)

1 450×600タイプは**410×560mm**
600×600タイプは**606×606mm**
の開口部が必要です。

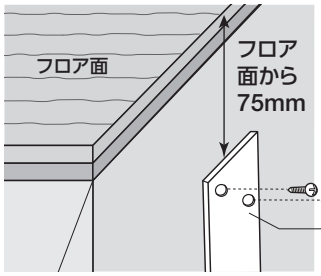


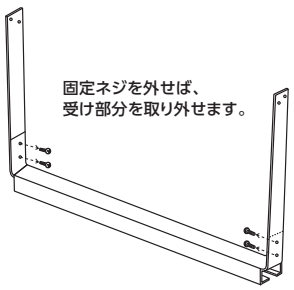
2 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。
※補強材には乾燥材をご使用ください。
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



■床下収納庫用補強ステーを別売でご用意しています。

床下収納庫用補強ステーをご使用の場合は**2**-**2**完了後、ステーの上端がフロア面から75mmの位置になるように付属のネジ(ø4×16)で補強材(現場調達)に取り付けてください。※2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。





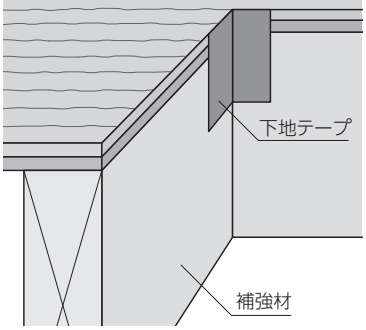
対応収納庫	品 番
SPF-45S2	BU-SPF-BL-HS45S2
SPF-60S2	BU-SPF-BL-HS60S2
SPF-60S3	BU-SPF-BL-HS60S3

収納庫の注意点

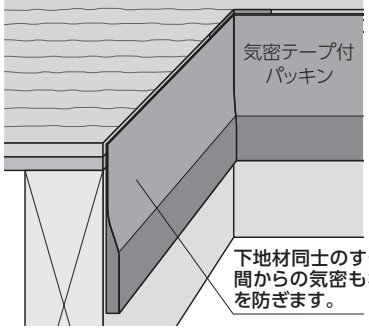
下表の重さ以上ものを入れないでください。また、一点に集中して荷重がかかると変形の恐れがあります。

SPF-45S2	SPF-60S2	SPF-60S3
70kgまで		

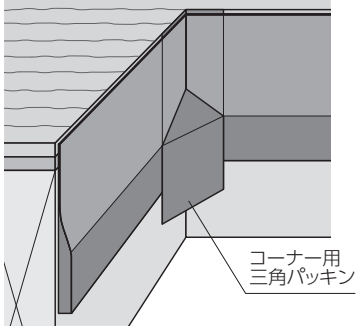
3 コーナー部に付属の下地テープのみを貼ってください。



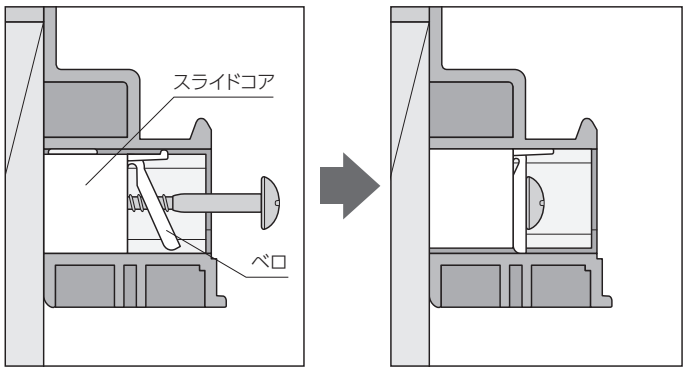
下地材の側面に付属の気密テープ付パッキンを貼り気密処理をしてください。



コーナー用三角パッキンを、さらに上から貼ってください。



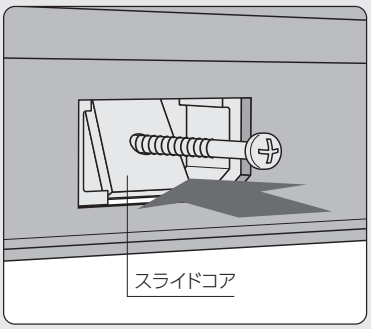
4 **3**の開口部に外枠をはめ、取り付けます。外枠側面に同梱しているスライドコアを**奥まで**差し込み、木ネジで補強材(現場調達)に取り付けます。



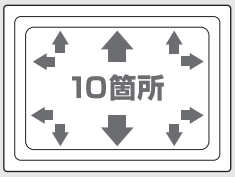
木ネジは必ず**水平に**入れてください。

ベロがまっすぐ立つまで木ネジを留め付けてください。

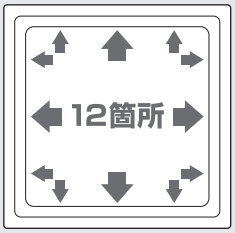
スライドコアは、**中央部分から**留め付けてください。
全てのスライドコアがしっかりと留め付けられていることを確認してください。



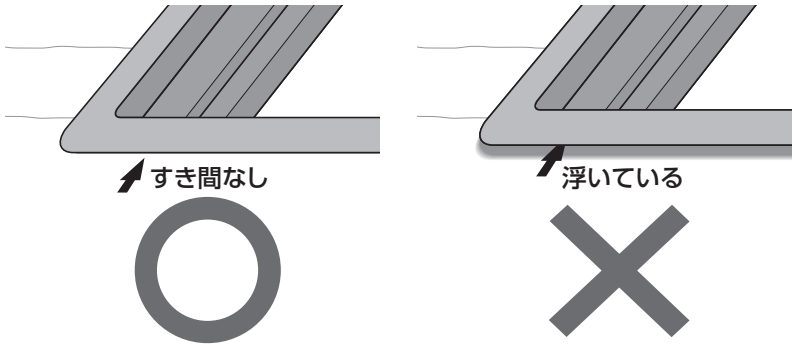
●450×600タイプ



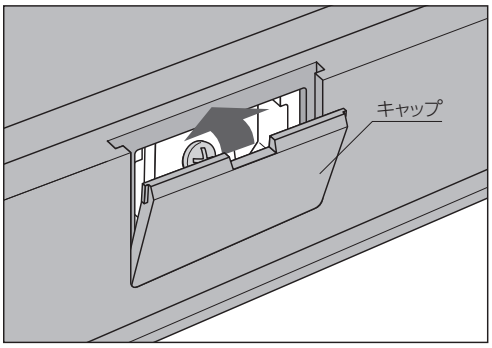
●600×600タイプ



⚠注意 外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。
すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



5 **4**で取り付けた外枠に、同梱しています キャップをセットしてください。



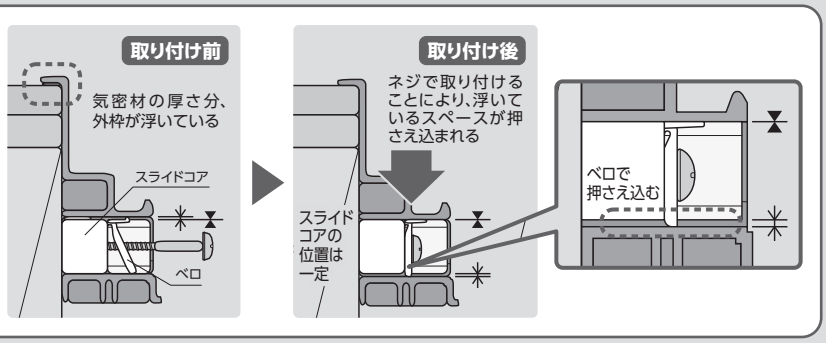
※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

■スライドコアの取り付けについてのお願い

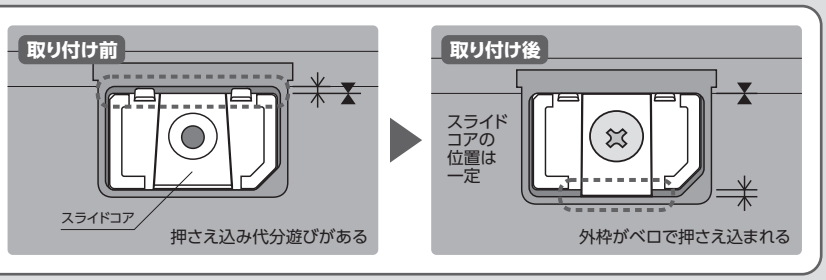
下記の図の通り、外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると(スライドコアは、あらかじめ外枠の奥までしっかりセットしておいてください)スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。**スライドコアは、外枠に手を触れずフリーハンドで取り付けて頂きますよう、お願いいたします。**

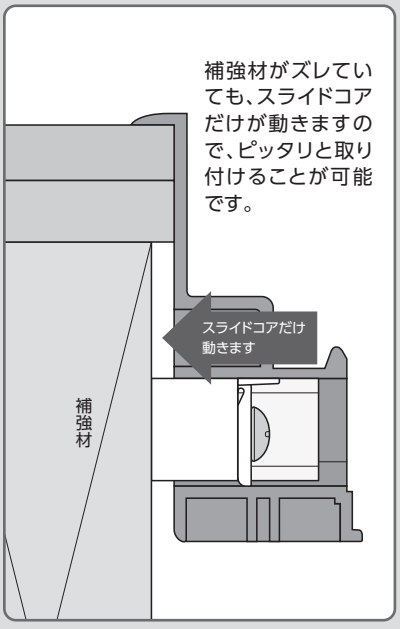
※スライドコアは中央部分から留め付けてください。
※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

補強材への取り付け方法【側面】



補強材への取り付け方法【正面】





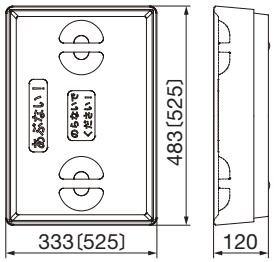
3 断熱枠を取り付けます

■断熱蓋 1コ　断熱枠 1セット

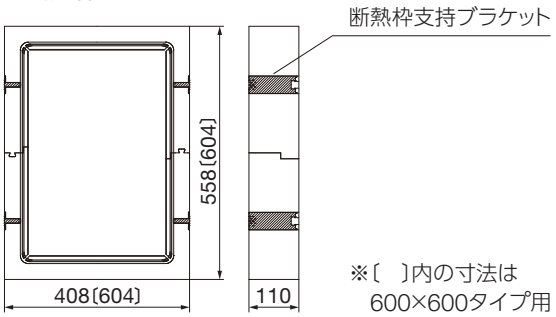
■取付ネジ(ℓ=57mm)
450×600タイプは4本／袋
600×600タイプは6本／袋

■断熱枠支持ブラケット
450×600タイプは4ヶ所
600×600タイプは6ヶ所

●断熱蓋図



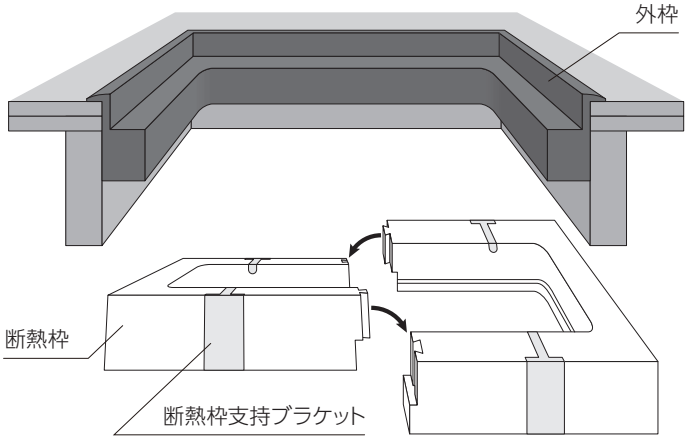
●断熱枠セット図

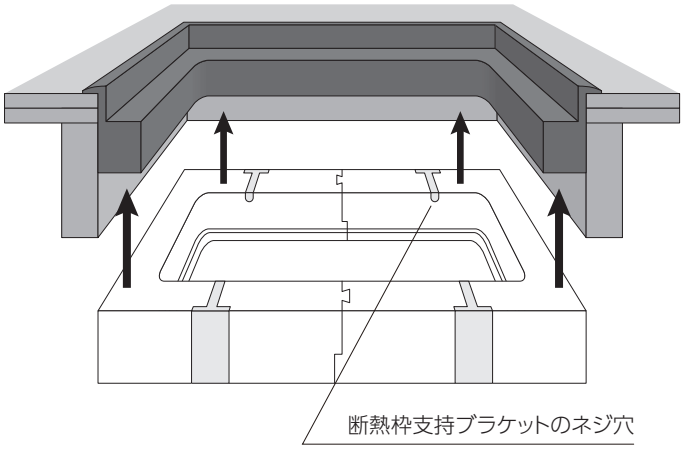


※〔　〕内の寸法は
600×600タイプ用

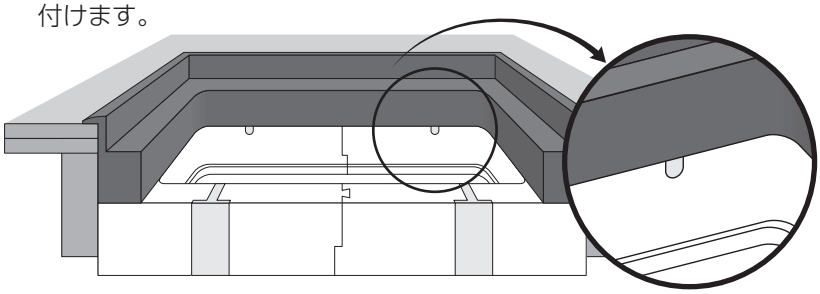
断熱枠の取り付け

①断熱枠をばらした状態で外枠から床下に入れ、断熱枠支持ブラケットのネジ穴がある方を上にして床下で組んでから、外枠の下端まで持ち上げます。





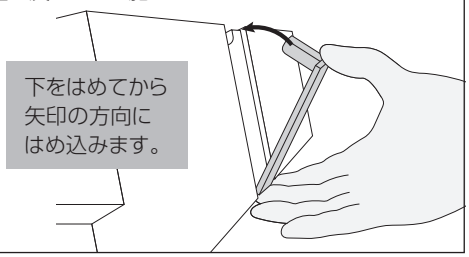
②断熱枠支持ブラケットのネジ穴から、付属の取付ネジで補強材に留め付けます。



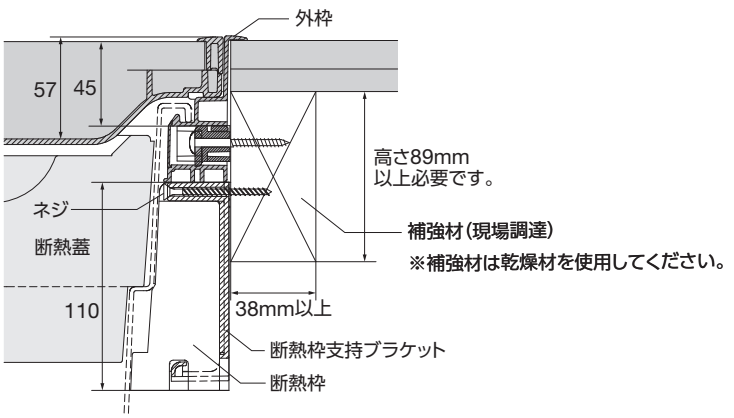
※600×600タイプは留め付ける際に、床下収納庫用補強ステーとネジ留め位置が干渉する場合があります。その際は断熱枠を90°回転させて干渉を避けてください。

⚠注意

断熱枠支持ブラケットは断熱枠に取り付いた状態で納品されますが、開梱時に万一断熱枠支持ブラケットが断熱枠から外れている場合は、図のように適切な位置に戻してから施工してください。



標準納まり図〈施工例〉



⚠注意　**点検時に断熱枠を取り外す場合**

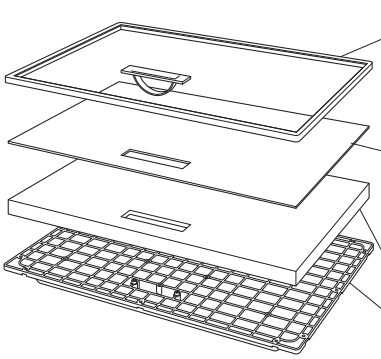
断熱枠支持ブラケットの取付ネジを外して断熱枠を押し下げて外してください。また、その際に断熱枠が破損しないようご注意ください。元に戻す場合は①と同じ手順となりますが、その際は電動ドライバーは使用せず、手回しでネジを留め付けてください。

4 点検口の蓋を組み立てます

※シート貼り完成品をお買い上げいただいた方は、完成品のため組み立ては完了しています。

クッションフロア合わせタイプ(SPF-R45〔60〕C-BC2)

※接着剤は、ホルムアルデヒト対策の市販製品をご使用ください。



① 縁材
※表面シートと調整面板を押さえ込みます。(うきあがり防止)

② 表面シート
(クッションフロア)
※現場にて用意してください。
加工寸法は同梱しています調整面板を型板として使ってください。

③ 調整面板(13mm)

④ 底蓋
底蓋と縁材を結合します。

クッションフロアを貼る際、以下の点にご注意ください。

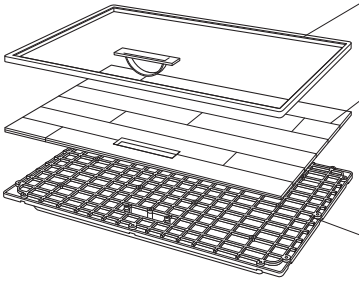
1.クッションフロアの選定
- 厚みは1.8~2.0mmとしてください。
- 貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。

2.接着剤の選定
- 接着剤はウレタン系が適当です。アクリル系の両面テープの全面使用も可能ですが、ラテックス、水性エマルジョンは使用できません。
- 調整面板はABS樹脂製品です。クッションフロア材との接着性は接着剤メーカーにお問い合わせの上ご使用ください。

3.施工の注意点
- 接着剤を均一に塗布して貼り合わせた後ローラーで十分に圧着してください。
- 接着不良は後日ふくれ・剥がれなどが生じる原因となります。
- 有機溶剤を含む接着剤を使用する場合は、火気に注意して換気を心がけてください。多量に摂取すると健康を害することがあります。

フローリング合わせタイプ(SPF-R45〔60〕F12-BC2)

板厚12mm専用タイプ



① 縁材
※フローリングを押さえ込みます。
(うきあがり防止)

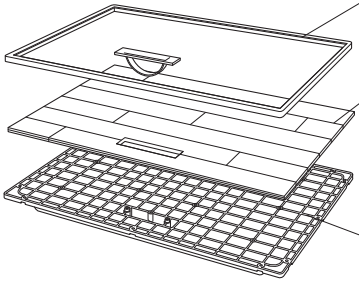
② フローリング
※現場にて用意してください。
板厚が12mmを越える場合は使用できません。加工寸法は同梱していますフロア材切断定規を型板として使ってください。

③ 底蓋
底蓋と縁材を結合します。

※板厚12mmに対応します。 ※フローリングは、F ☆☆☆☆をご使用ください。

フローリング合わせタイプ(SPF-R45〔60〕F15-BC2)

板厚15mm専用タイプ



① 縁材
※フローリングを押さえ込みます。
(うきあがり防止)

② フローリング
※現場にて用意してください。
板厚が15mmを越える場合は使用できません。加工寸法は同梱していますフロア材切断定規を型板として使ってください。

③ 底蓋
底蓋と縁材を結合します。

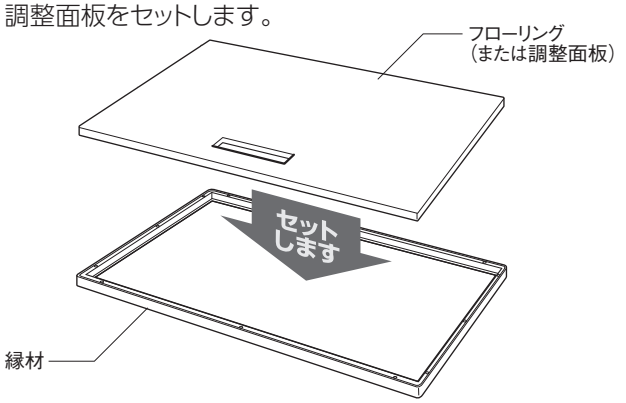
※板厚15mmに対応します。 ※フローリングは、F ☆☆☆☆をご使用ください。

フローリング切断寸法 | 450×600タイプ:382mm×532mm　600×600タイプ:577.5mm×577.5mm

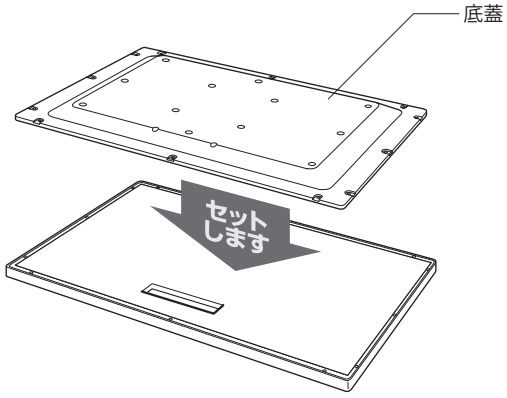
次の手順で組み立てていきます。

⚠ 注意:インパクトドライバーは使用しないでください。

1 縁材にフローリングまたはクッションフロアを貼り終えた調整面板をセットします。



2 **1** に底蓋をセットします。

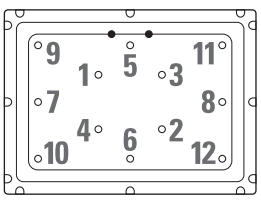


3 **2** を同梱のネジで留め付けていきます。その前に次の点を、ご確認・ご注意ください。

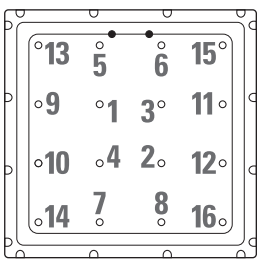
- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は**必ず平らな面の上**で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。

4 フローリング合わせタイプは同梱の短いネジ (4×16)、クッションフロア合わせタイプは、(4×14)で、下図の順番で留め付けていきます。
※光沢のあるフローリングは付属のワッシャーをご使用ください。
フローリング面に突起が出る恐れがあります。

●450×600タイプ

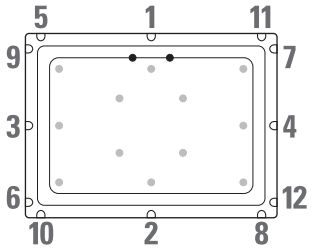


●600×600タイプ

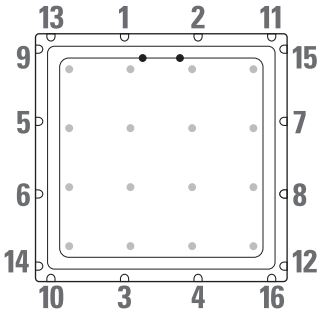


5 次に同梱の長いネジ (4×20) で縁材と底蓋を下図の順番で留め付けていきます。

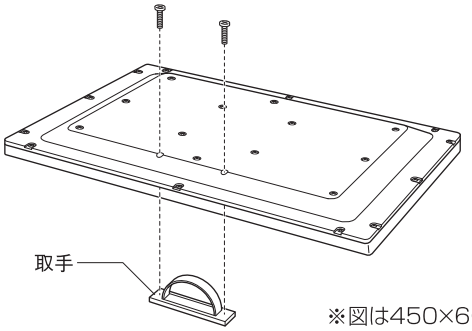
●450×600タイプ



●600×600タイプ



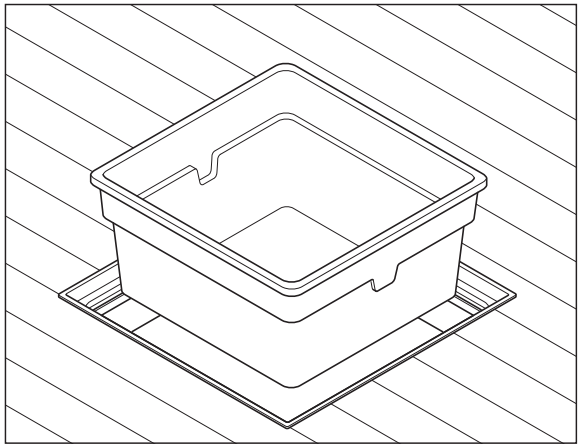
6 取手を取り付けます。取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の小ネジ (M4×16) をドライバー (手回し) で留め付けます。



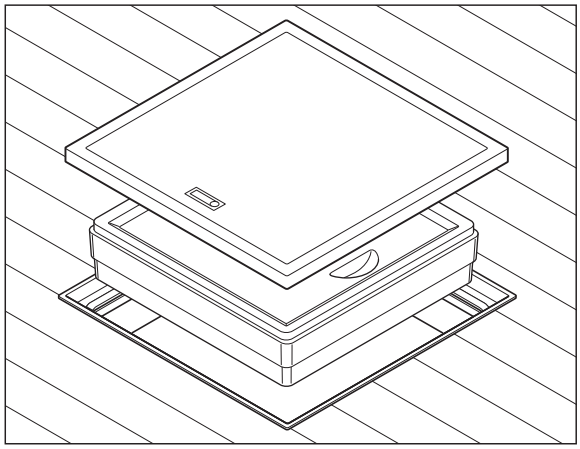
※図は450×600タイプです。

5 蓋を取り付けます

1 収納庫を取り付ける場合は、外枠へセットしてください。



2 蓋を取り付ける前に、断熱蓋を取り付けてください。蓋を外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。



6 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目	チェック
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか? 2の5	
蓋の開閉はスムーズですか?	
組み立てた蓋や取手にガタツキはありませんか?	
外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?	

城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは
ダイヤル【J】0120-106011
受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00

城東テクノホームページ
Joto
https://www.joto.com

Information
※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。
※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

第③版 2109SK